

# WORKS

## Empower&Energize

No135  
2014/12

名東福祉会は名古屋市と日進市を中心に  
知的障害者を中心とする福祉活動を行っています

### 障害者のクオリティ

### オブライフを高める

### 法人であるために

社会福祉法人名東福祉会

理事長 加藤久和

今回は名東福祉会の障害者支援活動  
について理事長として大切にしたいと  
思う事を述べます。

#### □名東福祉会としての目標を しっかりと定めましょう

その際、無理な話や遠い将来の話で  
はなく、実現可能な目標を定めること  
が大切だと思います。目標は理事会で  
決めるものではありません。評議員会、  
職員会、各種委員会、家族会など多様  
な層の人の集まりを通じて決定して行  
くものです。

理想を語るとき、私たちはどうして  
も観念的になります。でも計画に「本  
人主体の支援を行う」とかいった表現  
が書かれているだけなら、これは何も

書いていないのも同然です。「〇年〇月  
までに〇〇できるようにする」といつ  
た行動的な記述に基づいた計画が必要  
です。

□本人がどんな生活を望んでいるのかを  
十分に聞き取りましょう

よい支援活動は本人の要望をよく反  
映したものです。そのためによくよく  
本人の話を聴き、あるいは本人の日頃  
の行動をよく観察し、本人が得意とす  
るもので、日頃から本人が望んでいる  
ことを知ることが大切です。私たちが  
提供しているサービスが本人に合っ  
ているものなのかどうかを常に評価して、  
とんちんかんな計画を立てないように  
しましょう。

#### □活動計画を立てましょう

支援活動は二つの側面から切り分け  
る事ができます。

- ・緊急か緊急ではないか
- ・重要か重要ではないか

という2つです。このふたつで分けら

れた領域は、

- 1 緊急で  
重要な事
- 2 緊急ではないが  
重要な事
- 3 緊急で  
重要ではない事
- 4 緊急ではないし  
重要ではない事

	緊急	緊急ではない
重要	① 緊急かつ 重要	② 緊急ではないが 重要
重要ではない	③ 緊急だが 重要ではない	④ 緊急でも 重要でもない

1は緊急で重要ですからやらなければには行きません。火の粉を払うような仕事です。例えば、生活必需品が切れてしまったとか、てんかん発作の薬が切れてしまったとか、ガスの支払いを手伝わなければならないとか。私たちの仕事はほとんどがこうしたものです。

淡々と受ければよろしい。でも通常、施設長はこうした領域の仕事に追われがちです。

4はできればやらない方がいいでしょう。いわゆるムダな領域です。利用者のためにはない方がいいという仕事です。

#### □他のチームとの連携を増やしましょう

2は利用者の生活の質を高めるためには最も重要な領域です。例えば、ボランティアの育成のためのメイト活動を充実させるとか、利用者の作業を提供している企業と交渉するとか、接遇について研究するとか、ヒヤリハットや記録システムなどの情報共有のシステムを構築するなど。時間がかかるけれども一歩一歩進めて行くことが大切です。この領域を増やして行くと、不思議なことに「火の粉を払う」仕事が減ってきます。

連携とは得意分野の異なる人たちが「連絡を密にとりあって、ひとつの目的のために一緒に物事を成し遂げること」です。サッカーの連携プレーといえ、誰かがフェイントで相手を引きつけておきながら、空いたスペースに味方が飛び込み、そこにボールを渡してシュートするということなのです。共通の目的はゴールです。それに対し、物事を誰かと一緒にやるわけではなく、誰か他の人に託すというなら連携といわず「引き継ぎ」といいます。

3はできれば避けたい話。あまり重要ではない定例の会議とか、急に入った監査であるとかです。もちろん監査自体は重要ですが、もし日頃からきちんと業務をこなしていれば施設運営者にとって監査は重要ではありません。

利用者の生活の質は「連携」によって向上します。家族との連携、法人のグループ施設との連携、医療との連携、相談支援センターとの連携など。責任を明確にして、連携を増やして行

きましょう。

#### □記録を重視しましょう

支援活動が根拠に基づいた支援活動であるためには記録が必要です。記録をきちんとしていきましょう。それだけでなく、関係者がいつでも記録にアクセスできるようにしましょう。これまでの対応方法は名東福祉会の貴重な財産だと思います。

そういえば、30周年記念で法人本部にも記録が残っていなかったにも関わらず、利用者の家族からお宝記録やお宝写真やお宝会報が続々発見されました。記録を大切にしなければと思った次第です。

#### □行動的に評価しましょう

私が学生するとき、授業の指導案をよく書かされました。授業には「本時の目標」と「評価の観点」というものがあります。たぶん今でもそうだと思います。この評価の観点はとても行動的なものだったと覚えています。

社会福祉の支援活動についても、本人の支援が適切なものであったかどうか

かをどのような観点で評価するのか、あらかじめ考えておいた方がいいと思います。この点では特別支援学校の先生方が膨大なノウハウを持っていらっしゃるので学べるような連携があるといいと思います。

#### □本人にわかる形で計画を伝えましょう

どんな小さな計画でも、本人にわかる形で伝える努力をしましょう。例えば病院に行く時にも黙って連れて行くという事がないようにしたいです。名東福祉会は小さなことでも本人にじっくり伝えるのが社風になっていますから、見ていて安心ができますし、常にありがたさを感じます。

#### □支援活動が計画通りに行われているかどうかをチェックする、30日ルールをつくりましょう

確かに、支援計画はアセスメントをすることもモニタリングをすることも大変です。でも、計画は腐ります。計画を立てて30日以内に実施状況の評価を行いましょう。

## □研修をいきましょう

支援は人が行います。福祉は人が財産です。人を育てる研修をいろいろな場面で実行していきましょう。

今回の記事はいつもとはちよつと変わった形で書きました。今、名東福祉会の現場ではホームページも新しく整備されるなど、「情報発信力」が高まりつつあります。家族会の方々も役員が若返り、新しい形で活動が始まりつつあります。躍動感がでてきました。とてもいいことだと思います。

先日は、家族会の交流会でオペラ歌手を目指している職員が家族会でも日本の歌を歌ってくれました。私も家族の皆様といっしょに歌を聴きました。そうした芸術家が名東福祉会の障害者支援の活動を作ってくださっているのだと思うとほんとうに感動しました。この歌声、利用者の人たちにも響くよううで、いつもならじつとしていられず大声を出してしまう方が、職員の歌声に30分以上、じつと聴き入っていたとのことです。またこの歌声を利用者のみんなと聴くという計画が立案されるといういいですね。



支援活動はいろいろな個性と才能を持った人たちが連携して一つの目標を実現する活動だと思えます。それぞれの人が得意とする事をもちより、利用者の人たちの幸せを実現して行く事ができることを祈ります。

## 法人の家族会活動について

名東福祉会統括本部長

山田達巳

名東福祉会の各事業所には家族会があります。利用者のご両親、ご兄弟(姉妹)を中心に構成されているこの家族会は、通常は各事業所単位で活動されていますが、事業所の枠を超えて法人としての展開をおこなっている点に大きな特徴があります。

事業所の枠を超えた活動は、合同家族会という名称で、昨年までは、月1回(今年度は2ヶ月に1回)の合同役員会が、各事業所の家族会役員さんが集まる形で開催されています。

### 合同での家族会活動について

まず始めに合同役員会の活動についてご紹介させていただきます。合同役員会の定例会では、各事業所の前月の活動状況が家族の視点で報告されます。特に日中活動については、すべての事業所共通の活動ですので関心の高いところですが、事業所環境や利用されている方々の状態を考慮して様々な工夫

がされていますので、決して同じ活動が提供されているわけではありません。ご家族にとっては、他の事業所の動きが気になる場所ですが、報告という形で情報共有することで、お互いの共通点を知ったり、違いを理解することができ、法人全体として、或いは各事業所として、力を入れていく取り組みが何であるのかを確認する場所となっています。

また、年に1回、法人全体の家族会が集まる合同研修会がありますが、この企画等は合同役員会が担っています。理事長も紹介していますが、今年、研修会ではなく、交流会という形態で音楽鑑賞がおこなわれました。過去には、メイトウ・ワークスでは「やきものまつり」、天白ワークスでは「藤まつり」という、地域の方々にもご参加いただけるような、比較的規模の大きい行事が開催されましたので、その都度、各事業所のご家族が顔を合わせることができました。現在は、合同研修会(交流会)が名東福祉会の家族会の一員であることを再認識する貴重な機会となっています。

### 事業所ごとの家族会活動について

次に各事業所における活動についてですが、合同役員会と同じく定例会がおこなわれています。この定例会には、事業所の管理者も出席をして、近況報告や今後の予定が伝えられます。事業所の具体的な運営方針等が示される際には、家族会、事業所の共通の課題として、事業所をより良くしていくための話し合いがおこなわれたりもします。その他にも、各事業所共通に館内の清掃から屋外の草取り、行事の食事作り、地域のバザーでの製品販売など、様々な活動がおこなわれています。

行事については、例えばクリスマス会のような事業所内での楽しみみ会の昼食を家族会が手作りしたりします。事業所ごとの家族会活動は、足りないところをカバーするといった地味な活動ではありますが、事業所と深く結びついた活動でもあります。レジデンス日進は新しい事業所でもあり、日々の支援に追われている職員に代わって、利用者の皆さんに楽しんでからおおうという家族会の強い気持ちから、家族会が中心となって「おまつり」を開催しています。数年間は、企画からスタートし、当日の運営までの

すべてを家族会がおこなってきました。

事業所の支援体制が少し軌道に乗ってからは、地域への理解が目的のひとつでもありますが、事業所が主体となり、家族会がお手伝いするといった形になっていきます。このスタイルは、前述しました「やきものまつり」「藤まつり」と同様で、家族会と事業所が一体となってイベントを作り上げるといえるものです。それぞれのおまつりでの家族会の役割として焼きそば、たこ焼き、フランクフルト、炊き込みご飯や豚汁を作ったりしてきました。時には歌や踊りを披露したこともあります。当日だけでなく、材料の購入、下ごしらえ、事前の練習など、相当な準備が必要です。以前は、メイトウ・ワークスや天白ワークスにおいてこのような活動を前向きにおこなっていましたが、地域への理解については一応の成果を挙げたということ、家族会、事業所の負担が大きいかを考慮して10年以上前に終了しています。ただ、法人全体の利用者、家族、ボランティア、職員が集まることのできるイベントの再開を求め、ご家族の声はその後も続けて聞かれます。

## メイトに関する取組みについて

昨年度4月にスタートしたメイト活動の登録会員数が100名に到達しました。

ボランティア通貨を発行してボランティアをしていただいた方に「感謝の意を示す」だけでなく、通貨を利用して商品と交換する仕組みによって、利用者の方々に商品を生産してもらうための機会を用意することにもなるメイト活動ですが、始まりは、これまで継続して各事業所を支えて下さっているボランティアさんとこの活動に理解を示してくださった家族会の方々でした。最初にボランティア登録をしていただけ、活動毎にスタンプを押し、ポイントが貯まったらメイト紙幣をお渡ししてメイト商品に交換していただくという一連の流れは出来上がってきているように思われます。ただ、現在の会員の約7割がご家族の方々という状況ですので、家族会頼みの活動といった印象になっています。後援会が事業所紹介やボランティア募集のためのメイト通信を発行し、さらにメイト活動の案内を作成する方向で検討されています。また、法人のホームページにも掲載されるようになりま

したので、ご家族以外の方々のボランティア登録が増えていくことに期待しています。

## 名東福祉会を支えてくださる

### 家族会について

名東福祉会の家族会は、事前に福祉会がその活動内容を決めてしまうようなこともありませんが、活動に制限をかけるようなことはありませんので、ご家族の皆様が主体的に活動することができます。法人が設立され、メイトウ・ワークスが開所されてから30年以上も続いている家族会は、常に事業所と話し合いを持ちながら、協力体制を維持し、事業所を成長させてきました。古い話になりますが、天白ワークスが開所した当初は、家族会の方々が厨房に入り昼食の準備を手伝ったり、利用者の方々と一緒に散歩に行っていたりもしたそうです。レジデンス日進がオープンした際にも、職員体制に余裕がなく、しばらく家族会の有志の方々にシーツ交換をしていたり、いたこともありました。職員だけではどうしても行き届かないところをいつもカバーしてくださるのが家族会です。

昨年度あたりから後援会プロジェクトができ、名東福祉会後援会の活動が活発になってきました。具体的には、レジデンス日進の屋上庭園の整備とパンプレット作りのプロジェクトですが、

後援会には、多くの家族会の方々が後援会員になってくださっていることもあり、プロジェクトで活躍されている方も家族会の方々が中心です。

毎週水曜日はレジデンス日進の屋上で、名東福祉会に関わる方々の憩いの場となることを夢に描きながら、夏の暑い日も冬の寒い日も、草花の手入れがおこなわれています。

パンプレット作りは、数多くの後援会会員の皆様が名東福祉会を支えて下さることを思い描きながら、毎月第1火曜日に打ち合わせがおこなわれています。このプロジェクトでボランティア募集のメイト通信が準備されています。

このように家族会の活動は、様々な形で名東福祉会を支援するための活動だということができません。個々の事情があり、必ずしも積極的に家族会活動に参加できる方ばかりとは言えない中で、家族会の活動が衰退することなく

続けられていることは、各事業所や法人を支えていくのだという、お一人おひとりの強い思いがあるからなのでしょう。

### 家族会活動は名東福祉会の財産

最後に少し個人的な話をさせていただきます。私は家族会の方々と一緒に活動できることをいつも嬉しく思っています。イベント活動のような楽しいことだけでなく、たとえ事故や怪我といったシビアなケースであっても、一緒に乗り越えていくことができた時には満足感や達成感があります。

私は、随分長く名東福祉会で仕事をしてきましたが、常に家族会の方々に手助けしてもらってきました。「親子離れ」ではありませんが、私は「家族会離れ」できていないようです。心のどこかで「必ず家族会の方々が支えてくれる」と信じているところがあります。これは、単に私だけの思いなのかもしれませんが、必要と思われる時に主体的に力を発揮して下さる名東福祉会の家族会は、これまでも、そしてこれからも、なくてはならない大切な財産です。



## ご寄付ありがとうございます

平成 26 年 6 月 1 日～平成 26 年 11 月 30 日

### ◆メイトウ・ワークス

金澤 厚 様 大内 伸元 様 尾崎 城二 様  
電々名古屋ボランティア 様

### ◆天白ワークス

長井 淳 様 水嶋 正直 様 丹羽 文芳 様 江口 敏比古 様  
水谷 義孝 様 加藤 真澄 様

### ◆はまなす

木村 恵子 様 梅田 満留 様 中井 昌誉 様 原田 不二夫 様  
山田 幸造 様 牧 公三 様 杉原 活好 様 加藤 公英 様  
鈴木 勝人 様 鴨下 錡 様 大伴 幸三 様 藤井 保郎 様  
麦島 厚 様 後藤 良昭 様  
はまなす家族会 様

### ◆レジデンス日進・上ノ山ホーム

吉田 征一 様 尾崎 城二 様 福田 光子 様 松原 日出男 様  
高橋 元彦 様 山口 慶子 様 伊藤 和幸 様  
レジデンス日進家族会 様

## 名東福祉会のホームページ

ホームページアドレス <http://www.meito.or.jp>

#### ●社会福祉法人 名東福祉会

〒 470-0124 日進市浅田町上納 58-4

TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

#### ●メイトウ・ワークス

(就労継続B型・生活介護)

〒 465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303

TEL 052(702)2863 FAX 052(701)2079

#### ●天白ワークス

(就労継続B型・生活介護)

〒 468-0023 名古屋市天白区御前場町 327

TEL 052(804)5487 FAX 052(804)5416

#### ●焼き菓子の店「ロト」(天白ワークス生活介護)

〒 470-0124 日進市浅田町平池112-3

TEL 052(808)6555 FAX 052(808)6555

#### ●デイケア はまなす

(生活介護)

〒 465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911

TEL 052(704)7551 FAX 052(704)7552

#### ●レジデンス日進・ハートフルアクト日進

(施設入所支援・就労継続B型・生活介護  
／地域活動支援センター)

〒 470-0124 日進市浅田町上納 58-4

TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

#### ●上ノ山ホーム

(グループホーム)